



# 山本りか県議会通信



2016年2月25日  
議案質疑

知事

## 信号機新設30機↓11機に後退 三重県での原発新設は論外

### サミットだから？

ここ4年間、毎年30機新設してきた信号機ですが、提案されている来年度の一般会計県警本部予算において3億3763万円で11機と予算額が大幅に後退しています。

山本りか県議は「サミットではテロ対策に10億円かけるなど、道路整備も含め2年間で90億円（来年度は26億円）もかけるのに、これまでも要望の多い

生活道路や通学路の安全のための整備予算を削るのはサミットのためか？」と問いました。

森本県警本部長は「交通安全施設の整備は大変重要な課題だと認識しているが政策的予算は対前年度比70%以下という厳しい基準の中で1億円余り減額となっている。確保した予算は早期執行に努め執行残が出たなら迅速な追加整備に努める」と答弁しました。サミットが、これだけではないと県民サービス予算を後退させていることは明らかです。

山本りか県議は「事故がおこってから

### 原発依存変わらず？

また、国が電源構成を見直したことを受けて「三重県新エネルギービジョン」の改正が提案されています。2030年度の電源構成見直しを、再生可能エネルギーが22〜24%とこれまでの19.4%から数%増加し、原子力発電について20〜22%とこれまでの48.7%から20%近く減少するなど大きく削減されていますが残されたままです。

山本りか県議は、「福島原発事故から

しか信号はつかないといわれたことがあるが、今では事故がおこっても信号がつかないといわれている。摩耗してしまった横断歩道などもホントに危険で塗り替えなども要望が多い。安全のためというところで十分取り組んでいただきたい」と要望しました。



四日市南警察署前  
横断歩道

5年たった今も終息にはほど遠く汚染との戦いが続いている。『原発やめよう』との声が続く中、原子力を電源構成として位置づけていることは問題だ。安心安全が担保されない原子力発電所新設を県が推進することはありませぬ」と知事に問いました。

鈴木英敬知事は、「原発については安全第一が原則である。再稼働については原子力規制委員会の新規基準に適合していることと共に、多くの国民や周辺の住民の方々に納得いただけるかということも重要。国民感情や地元自治体の意向を十分にくみ取っていただくことが必要。県内の原発の新設立地については議論の余地はない」と答えました。



### 議会報告会の予定

- 桜台第一会館 3月20日(日) 10時～
- 四郷地区市民センター 3月20日(日) 17時半～
- 市民交流会館 3月27日(日) 10時～

お気軽にどうぞ  
詳しくはお問合せください

これでいいの！  
只今、審議中  
採決は3月22日



4/3  
十川 お花見！！

### ★山本りか事務所★

沖の島町郵便局西となり

月・火・木・金午後1時～3時  
桐山がいます

☎・fax 059-350-8010  
HP <http://rika.jcpweb.net/>  
FBも見てね (\*\*^\*)v

【お気軽にご意見ください】